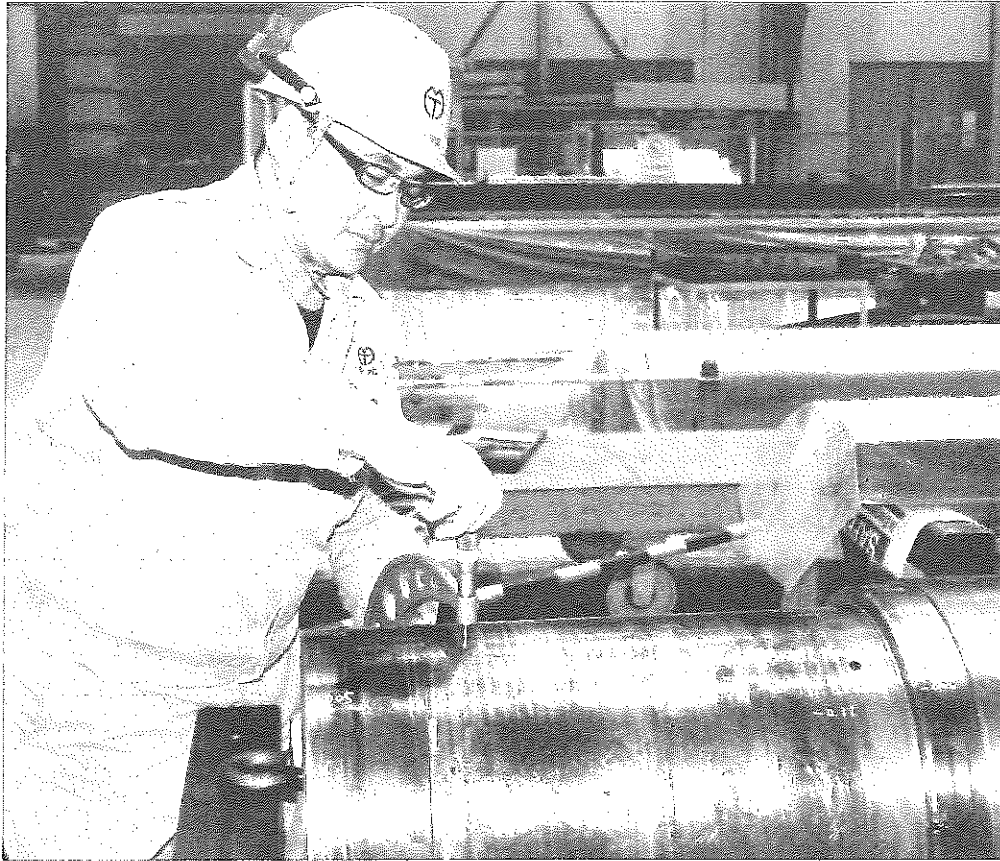


当会会員の(株)松本鐵工所(苫小牧市) 様が  
6月14日付の日刊工業新聞に紹介されました。



# 町工場 140

モノづくりを支える

松本鐵工所は産業機  
械の設計・製作から据  
え付け、メンテナンス  
は製紙工場の設備の中

## 松本鐵工所

でも心臓部にあたる抄紙機。幅10尺、高さも3階建てのビルほどで10尺以上にもなる大きな設備だ。  
国内約7割の抄紙機の据え付けや組み立てを手がけてきた。据え付けは高品質な紙を生

## 抄紙機据え付け 国内7割占める

産する上で重要な作業。レーザー芯出し器を用いて精度を確認するなど、100分の1ミリ単位で調整する技術力や、一貫して加工ができる体制は全国で評価されている。「据え付けをやったから、メンテナンスもお願いされるなど、他の設備の仕事にもつながった」と松本絃昌社長は振り返る。

近年は、これまでの技術やノウハウを活用した自動車関連設備の製作なども手がけており、金型の修理にも取り組み始めた。「メンテナンスや製作で誰からも頼られる技術力」と、社長自身が説く。松本ブランドを今後とも高めていく。

▽社長 松本絃昌氏  
所在地 北海道苫小牧市、0144・55・1155  
▽売上高 約30億円(16年3月期)  
▽従業員 270人  
設立 48年(昭23) 4月

(火曜日連載)